

東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会（第 27 回部会）会議録

日 時：令和 2 年 7 月 14 日（火）まちづくり協議会終了後～午後 8 時 20 分
場 所：東淀川区役所 3 階区民ホール

【議事】

- 1 開会
- 2 部会長あいさつ
- 3 議題
(1) 令和 2 年度の活動方針について
(2) 新庄地域保健福祉計画について
- 4 その他（意見交換）
- 5 閉会

≪配付資料≫

- ・ 議事次第、構想部会座席表
- ・ 新庄地域保健福祉計画 パンフレット
- ・ 新庄地域保健福祉計画 資料編
- ・ 淀川北岸線（暫定整備道路）の対面通行化および横断箇所の変更のお知らせ

1. 開会

2. 部会長あいさつ

3. 議題

(1) 令和 2 年度の活動方針について

(部会長)

- ・ 次回部会の日程は 9 月 10 日開催を予定している。会場は本日と違い、東淀川区役所出張所にて開催予定である。各地域の取り組みの状況等を報告して頂ければと思う。

(2) 新庄地域保健福祉計画について

- ・ 計画作成のために平成 30 年からアンケート調査などをはじめ令和 2 年初頭、およそ 3 年半かけて計画が完成した。
- ・ 計画作成までに地域で学習会を 1 回、ワークショップを 4 回、策定会議を 6 回開催した。計画完成後にお披露目会として報告会を開催した。
- ・ ワークショップは当初 3 回予定だったが、議論が盛り上がり具体的に取り組むことも考えようと 4 回目を実施した。
- ・ 計画の 5 つのテーマ「健康や見守り」、「コミュニティやつながり」、「子育てや教育」、「住環境」、「安全・安心」はアンケート結果から抽出し、テーマ毎にグループを分けてワークショップを行った。
- ・ ワークショップで抽出した具体的な対応策等をまとめて冊子にしたものがこの保健福祉計画である。
- ・ 具体的な対応策は 3 つに分類して整理を行った。短期目標はすぐにできること、中期目標は段階的にできること、長期目標は将来できたらいいなということを整理した。短期目標の中には、既に地域で行っている活動も入っている。
- ・ 保健福祉計画を作成したことで、活動を具体化するための目標を理解することができた。

- ・「住環境」は中期目標の中で阪急電鉄や構想部会と連携して進めたい。「安全・安心」は防災リーダーの増員と若返りを掲げている。
- ・コロナ禍の影響で進めていくことが難しいテーマもあるが、この保健福祉計画があることで新庄地域が目標に向かって進むことができる。

以上、新庄地域保健福祉計画について部会員から説明を受けた。

4. その他（意見交換）

久教授のアドバイス要旨

- ・既に行っている活動が計画に入っていることは、非常に大きなポイントである。これまでの活動がワークショップを開催して計画にまとめられたことで、体系化される。ある目標に対してのそれぞれの活動の位置付けや同じ目標を持っている活動同士の関係も見えてくる。
- ・これから作成される地域は、計画に記載する活動の95%がこれまでの活動と同じでもいいと思う。地域の活動を目標に沿って体系化することが保健福祉計画のポイントである。
- ・新庄地域で行われたワークショップでは、参加者がお互いの思いを共有できたということが良いポイントだと思う。そのことで連携も強化できた。ワークショップを開催できたことも成果である。
- ・今、ある市では15年前に作成された各小学校区のまちづくり計画を見直している。見直しを始める時にある小学校区のまちづくり協議会の会長が「今は私が会長だが、私はこの計画があることを知らなかった。」と仰っていた。15年前に当時の役員だけで計画を作成し、15年間で役員が入れ替わり、今の会長は計画の存在すら知らなかったのである。そこで今回の計画の見直しでは、色んな世代の人たちに関わってもらい、世代交代があっても計画の存在を知っている人がいるようにしたいので、役員だけで計画を作るのはやめようという話になった。
- ・今後、計画を作成される地域では、様々な世代が計画作成に関わり、計画そのものを受け継いでいけるようにしてもらいたい。そのためにできるだけワークショップを開催し、現役員以外の方の意見も反映して頂きたい。
- ・次回以降に、どうすれば良い雰囲気で行進することができるのか、計画を作成した地域の方々からお知恵を借りながら進めていけたらと思う。

（事務局）

- ・「淀川北岸線（暫定整備道路）の対面通行化および横断箇所の変更のお知らせ」を配付している。また、ご確認頂きたい。

5. 閉会

- ・次回の部会は9月10日午後7時から開催予定。

以上